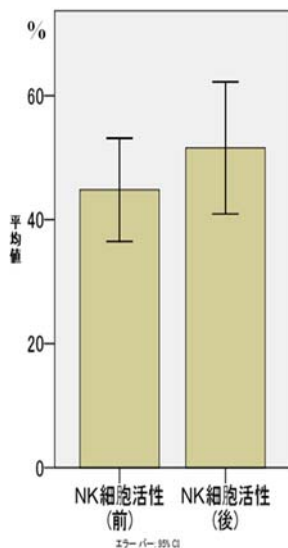


ブロリコ臨床試験結果

2011年2月から3月にかけて、当社では、ブロリコの人への安全性、有効性を確認するため、臨床試験を行いました。

生物は、細菌やウイルス、がん細胞などを排除して、自らの生体を守るシステムをもっています。このような生体防御の仕組みを免疫といいます。免疫には、自らの生体とは異物と判断したものを即攻撃する自然免疫と、一度体内に侵入したことのある病原体などを覚えていて、それのみを攻撃する獲得免疫があります。自然免疫系の中でも、NK細胞（ナチュラル・キラー細胞）が最近注目を集めています。ヒトの体の中では、毎日多数のがん細胞が発生していますが、簡単にはがんを発症しないのは、NK細胞がこれらのがん細胞を摘み取っているためであると考えられています。実際に、NK細胞の活性の高い人ほど、がんになりにくいという研究結果が報告されています。



これまでの動物実験や試験管内でのヒトの血液を使った研究から、ブロリコには自然免疫を活性化する働きがあることが示されていました。そこで、ブロリコが実際にヒトの体内でも免疫の活性を上げるかについて調べるために、21名の男女（男性9名、女性12名）を対象とした治験を行いました。対象者には、1カ月間ブロリコを毎日摂取してもらいました。ブロリコ摂取前と、摂取後にそれぞれ血液検査を行い、NK細胞の活性を測定したところ、摂取後のNK細胞活性が上昇する傾向が見られました（摂取後の血液測定に参加できない人がいたため、前後の血液を採れた15名について分析）。尚、治験実施中に、東日本大震災があり、本来であれば、食生活の乱れやストレスからNK細胞活性は減じていてもおかしくない状況でありました。

また、摂取後の自覚症状について聞いたところ、15名中5名が胃炎改善、脂漏性湿疹改善、歯ぐき出血改善、体のだるさの改善、目の疲れが軽減、寝起きが良くなった、花粉症が楽になったなど、体調が良くなったと答えました。また、3名の女性が、ニキビが治ったり、肌のつやが良くなったなど、皮膚の状態が改善したと答えました。精神的ストレスが軽減されたという人も2名いました。